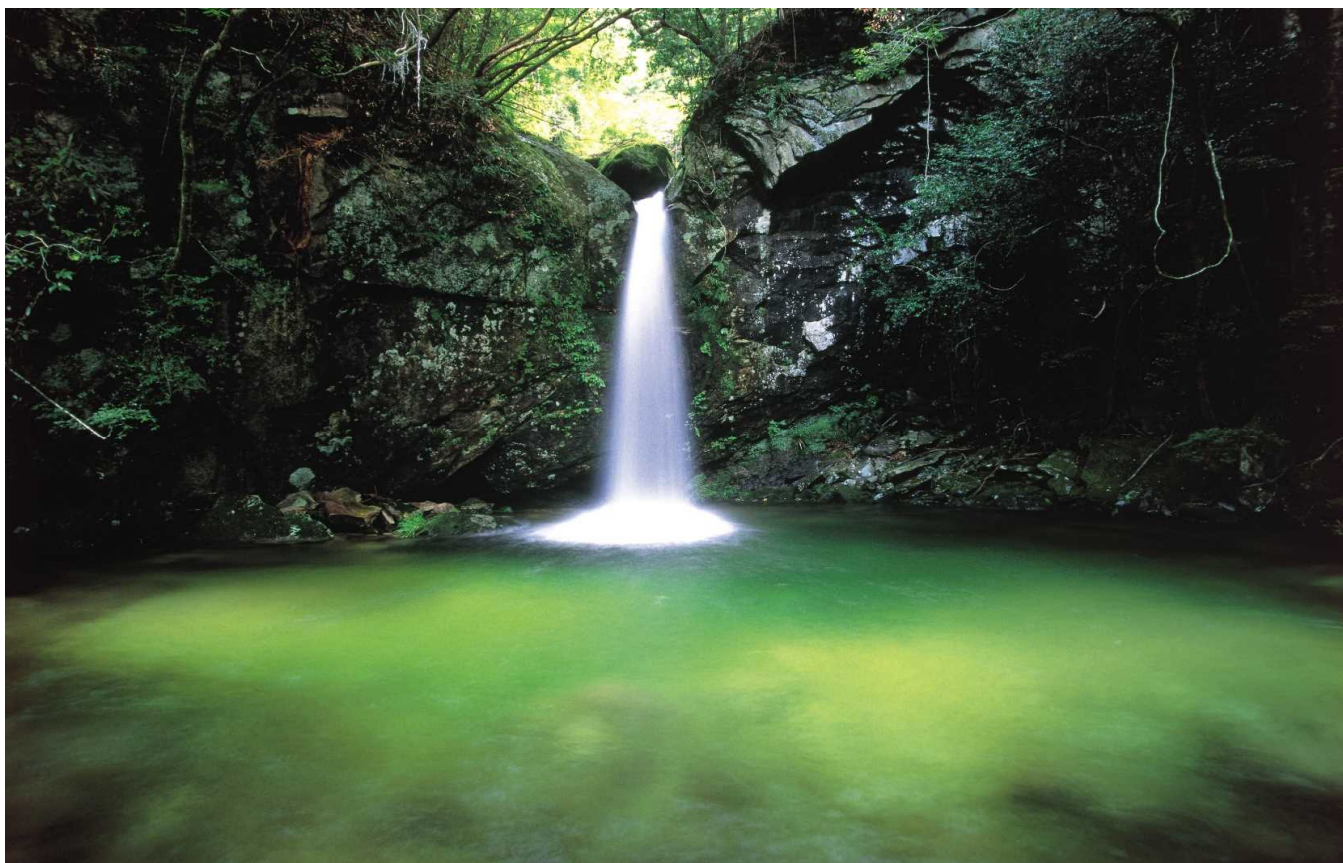


和歌山だよいい

令和4年
(2022) 3月号



日置川県立自然公園 (田辺市・白浜町)

日置川県立自然公園は、紀伊半島南部を東西に流れる日置川の中流から下流域とその支流であり、百間山を源流とする熊野川の流域から構成されており、美しい溪谷と穏やかな山村風景との調和が特色の公園です。公園内では、日照りが続くと雨乞いの神樂が行われたという「雨乞の滝」など、多くの名瀑を見ることができます。

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P16
3. お知らせ…………… P17～P21
4. ふるさと歳時記…………… P22



新政策

「新政策」という名称は、当たり前のような名称ですが、私が知事になる前は、この新政策という概念はありませんでした。来年度の予算をどうまとめるかという予算編成はもちろんありましたが、これまでの政策の総点検という側面はありませんでした。私は2006年の12月に就任したのですが、県庁の事務方から国の予算編成作業が大詰めですから、すぐに財務省に要望に行ってくださいと頼まれました。確かにメディアでは12月には財務省を中心に予算編成が大詰めという風に報道されるのですが、県が特別に関心を持っている話は、もっと前の、各省が財務省に概算要求を出す8月末の前にほぼ決着がついています。各省が県の意見を入れてくれるかどうかは、各省が来年度の政策をどうするかという議論をしている春から7月までが勝負なのです。12月の予算要望は「やったふり」みたいだし、要望は効果がないといけません。また予算に限らず、県庁のすべての政策を対象に、うまくいっているか、欠けているところはどこか、それならどんな新しい工夫をして県政を充実させていくか、県庁全体で考えなければならないと考え、始めたのが新政策プロセスです。

4月から現政策のチェックをして、どういう改革、改良、新規追加をしていくべきかを県庁中で議論します。何度も検討して秋の初めには、政策のラインナップを決めて公表します。これを県議会、市町村はじめ多くの方々と議論しつつ年内に予算付けの作業をし、年が明けたら、最終の知事査定で内容を固めて2月の県議会に提出するという運びです。したがって、新政策は、予算だけでなく条例案、制度の改革等、すべてであり、また新しく追加した政策だけでなく、既存の重要政策も含めた新しい政策のラインナップということなのです。

一方、国への要望は、各省庁に影響力を行使するため、6月初めまでに先に取りまとめ、お願いに参ります。

そうやって、一年間の労苦をもとにまとめました新政策をお届けします。そして4月からはその実施とともに次の新政策の検討です。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



令和4年度の新政策を発表しました

このたび、県では、「新しい世界で飛躍する和歌山」と「飛躍を支える基盤づくり」を目指す令和4年度の新政策を発表しました。

今回は、その内容の一部を御紹介いたします。

1. 新しい世界で飛躍する和歌山

変化する世界への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ● 「DX和歌山」の推進 ● わかやま移住定住総合戦略 ● 企業誘致戦略の推進
ポストコロナ時代に挑戦する産業支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内事業者の競争力強化 ● 起業家によるスタートアップ支援 ● 農林水産業の振興 ● 観光産業の再生・発展 ● 民間ロケット発射場周辺地域活性化 ● IR（統合型リゾート）の誘致

2. 飛躍を支える基盤づくり

コロナから暮らしと経済を守る	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍における保健医療行政の強化 ● 地域医療提供体制の堅持 ● 中小企業等におけるコロナ危機からの脱却 ● コロナ不況下における雇用対策
安全・安心で暮らしやすい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て相談体制の強化・待機児童解消対策・子育て世代の経済負担軽減 ● 児童相談所体制強化 ● 「和歌山県安全安心なインフラ構築宣言」の推進 ● 防災・減災、国土強靱化対策の推進
飛躍を支える人と地域を創る	<ul style="list-style-type: none"> ● 宇宙教育の推進 ● スタンフォード大学遠隔講座 ● 和歌山博物館施設デジタル化計画 ● 魅力的な景観まちづくりの推進 ● 経済活動の基盤となる道路ネットワークの整備

DX 和歌山の推進

世界規模でDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速化しています。こうした動きを捉え、社会全体でDXを推し進めていくことで、県内産業の競争力強化と優位性の確立、そして、効率的な行政運営と住民の利便性向上を図ります。

産業分野においては、「わかやまデジタル革命推進プロジェクト」として、シンポジウム開催による機運醸成から専門家派遣による導入支援まで、県内産業のDX実現に向けて一貫した支援を実施します。

行政分野においては、和歌山県庁DX推進本部を立ち上げ、県と市町村が一体となって、行政手続きのオンライン申請を可能とするインターフェースの構築やデジタルを前提とした業務改革などを推進していきます。また、教育分野においては、引き続き、ICTを活用した学びの充実を図ります。

わかやま移住定住総合戦略・企業誘致の推進

テレワークが普及したことにより東京一極集中が瓦解し、企業・個人の地方

分散の動きが進んでいます。こうしたチャンスを見逃さず、和歌山に人や企業を呼び込むため、「個人移住」、「農林水産業の担い手として移住」、「企業誘致に伴う移住」、「転職なき移住」の4方面に対して本県のビジネス環境の良さと安全で快適な生活環境といった強みを活かした「New Work×Life Style」を提案することにより、戦略的に施策を展開していきます。

また、移住相談の窓口となる“ワンストップパーソン”を全市町村に配置するとともに、県の相談窓口を統合するなど、相談・支援体制を充実。加えて、空き家バンク情報と民間物件情報を分かりやすく表示する「住まい探しポータルサイト」の開設等により、移住者の「住まい」に関する支援を強化します。

そして、企業を呼び込むため、ICT企業誘致を加速させるとともに、製造業の県内誘致も推進していきます。

県内事業者の競争力及び農業生産力の強化

事業創出、研究、商品開発から販路開拓までの段階に応じ、新しい時代に対応しようとする事業者を強力に支援します。令和4年度からは、スタートアップ創出支援の取組を強化し、「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに起業家が成長できる機会を提供します。また、農業生産力を強化するため、老木園の改植を推進することにより、園地の若返りを図るとともに、高い生産性が特徴であるオランダ農業をモデルとしたハウスの高度化の支援等を行います。

観光産業の再生・発展

令和5年度は弘法大師生誕1250年、令和6年度は世界遺産登録20周年にあたる年であり、さらに、令和7年度には、大阪・関西万博が開催される予定となっています。観光産業にとって追い風となるビックイベントが目白押しであるこの期間を「ダイヤモンドイヤー」と位置づけ、コロナ禍からの反転攻勢を図ります。

地域医療提供体制の堅持

県では、これまでも救急医療体制を充実させ、和歌山県立医科大学の入学枠に地域医療枠や県民枠を設けるなど、地域医療の充実と不足診療科の医師の確保に取り組んでまいりましたが、現在、産婦人科医師が足りていない状況にあります。そのため、県外の大学からの産婦人科医師の派遣の促進や寄附講座の

開設による産婦人科医師の育成及び診療支援に取り組みます。さらに、和歌山県立医科大学に産婦人科などの診療科を指定した入学枠の設定を進めることにより、産婦人科医師の確保を図ります。

高校生が学びを深める機会の提供

串本古座高等学校に公立高校としては全国初となる宇宙専門コースを令和6年度に新設することとし、コース新設に向けた取組をスタートさせます。宇宙について学びたい生徒を県内外から呼び込み、宇宙教育を通じて科学への興味・関心や学ぶ意欲を高めることで、未来を切り拓く人材の育成を行います。また、海外大学への進学など、世界へ挑戦する生徒を育成するため、県内の高校生向けにカスタマイズしたオールイングリッシュによるオンラインライブ授業をスタンフォード大学と共同で実施します。

博物館施設の新たな取組

県立近代美術館、県立博物館及び県立紀伊風土記の丘が有する文化遺産のデータベース化を実施。構築したデータベースを高精細画像や3Dにより各施設のホームページで公開することにより、本県の文化遺産の魅力を国内外へ発信します。また、令和10年度の開館を目指して、県立自然博物館と県立紀伊風土記の丘の新館建設計画を推進します。

令和4年度新政策の内容は、県企画総務課ホームページで御覧いただけます。上記以外の施策についても、掲載していますので是非御覧ください。

URL：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/new%20policy/R4.html>

注：新政策の内容については、現在、2月議会に諮っているところです。

各施策の実施には、県議会の議決を要します。

●和歌山県の棚田が「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定されました

このたび、本県の7ヶ所の棚田及び那智勝浦町の棚田群が、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定されました。本制度は、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解の促進を図ることを目的として農林水産大臣が認定するものです。選定基準は次ページに記載したとおりとなっており、全国で271地区が選ばれています。

なお、今回の選定を記念して、わかやま紀州館で3月末まで「つなぐ棚田遺産」特設コーナーを設置し、棚田地域の紹介と特産品の販売を実施しています。

県では、引き続き様々な機会を通して、棚田の魅力を多くの方に知っていただくことで、棚田・段々畑を核とした地域活性化につなげてまいります。

<選定基準>①～④を全て満たすこと。

①積極的な維持・保全の取組がなされ、今後も継続される見込みがあること。

②原則として、勾配が1／20以上の一団の棚田が1ha以上あること。

③棚田を含む地域の振興に係る取組に、多様な主体・多世代が参加していること。

④次のいずれかに関する取組が優れた棚田であること。

- (1) 農産物の供給の促進 (2) 国土の保全、水源の涵養 (3) 自然環境の保全
(4) 良好な景観形成 (5) 伝統文化の継承 (6) 棚田を核とした地域の振興



中田の棚田（紀美野町中田地内）

面積：9ha

保全団体：小川地域棚田振興協議会

耕作放棄地が増加する中、「美しい棚田の自然と農業文化を次世代に残したい」という思いをもった方々が集まり、中田の棚田再生プロジェクトを立ち上げ、活動を開始。令和2年に小川地域棚田振興協議会を設立し、棚田を再生・保全するとともに、それらを新たな観光・交流拠点として活用する取組も実施しています。

また、登録ボランティアである「棚田サポーターズ」等による復田作業に加え、農業体験や「棚田でキャンプ（棚田 deCAMP）」などの都市農村交流、さらには SNS 等を通じた地域の魅力発信も行っています。



芋谷の棚田（橋本市柱本地内）

面積：6ha

保全団体：柱本地域棚田協議会

地元の小学校・幼稚園と連携し、田植えや収穫の体験授業を実施するほか、自然観察会や地域外住民を対象にした棚田ツアーを開催するなど、環境教育にも取り組んでいます。

また、棚田オーナー制による棚田に関わる人口の増加や里芋、白ゴマなどの地域特産品のブランド化にも取り組んでいます。

さらに、棚田で収穫された米を学校給食米として使用することにより、耕作放棄地を復田し、放棄面積を減らす取組を開始しており、中学校での出前授業も実施しています。



上湯・あらぎ島（有田川町清水地内）

面積：18.8ha

保全団体：上湯・あらぎ島の棚田地域振興協議会

「日本の棚田百選」であり、「蘭島及び三田・清水の農山村景観」は、国の重要文化的景観に選定されています。

棚田を含む農村の原風景を保全・活用するため、共同で棚田保全活動に取り組み、目立ちにくい鳥獣害防止柵の設置など、景観に配慮した整備を推進しています。

また、景観への理解を深めるため、地域住民による勉強会等を実施。さらにパンフレット等により来訪者に地域への理解を促し、保全活動への参加のPRもしています。

加えて、棚田ウォーク等のイベント開催や学生ボランティア募集などにより棚田に関わる人口の増加にも取り組んでいます。



沼の棚田・段々畑（有田川町沼地内）

面積：41.4ha

保全団体：沼の棚田・段々畑地域振興協議会

国内随一の傾斜度と言われる棚田や地域の伝統行事などを保全・継承するため、和歌山大学観光学部との域学連携活動を実施。学生による草刈りや山椒の収穫等の援農活動により耕作放棄地の増加を防止するとともに、学生と共に作成した地域のシンボルマークを活用した農産物のブランド化に取り組んでいます。

また、秋祭りなどの地域の伝統行事には学生も参加しており、地元料理の体験や行事の運営支援を通して伝統文化の継承にも取り組んでいます。



久野原の棚田（有田川町久野原地内）

面積：32.7ha

保全団体：久野原の棚田地域振興協議会

耕作放棄地の増加防止のため、新規耕作者への農業機械のあっせんや営農指導など、新たな担い手の確保・定着に向けた取組を行い、地域ぐるみで農村の保全に取り組んでいます。

また、有田川町内最大のゲンジボタルの生息地であることから、保護活動や観察会を実施し、自然や農村の重要性について情報発信することにより、美しい景観を保全・継承できるよう取り組んでいます。

加えて、現在、一般公開を休止している「久野原の御田舞」の保全・継承にも取り組んでいます。



沼谷「天空の棚田」(有田川町沼谷地内)

面積：10.8ha

保全団体：沼谷の棚田地域振興協議会

標高が高い地域特性を活かし、棚田米やトマト等の高原野菜、ぶどう山椒等を生産しています。ぶどう山椒については、民間企業の労働力を活用し、耕作放棄地への導入や水田からの転作等による生産面積の拡大、六次産業化に取り組んでいます。

また、耕作放棄地等を活用し、郷土料理であり特産品にもなっている「わさび寿司」に利用する畑わさびの栽培を推進。「岩坂観音」で行うジャズコンサートなど、地域の素晴らしさのPRにも取り組んでいます。



杉野原の棚田 (有田川町杉野原地内)

面積：16.1ha

保全団体：杉野原の棚田地域振興協議会

農産物直売所を開設し、野菜や特用林産物等を販売することで来訪者を増やすとともに、定期的に「杉野原ふるさと市」としてイベントを開催することで、美しい四季の田園風景や特産品など、地域の魅力を発信しています。

また、地域の女性グループ「ししがせ娘」による廃校を利用した農産物の加工や農泊の推進など、棚田に関わる人口の増加や地域の活性化に取り組んでいます。

さらには、現在、一般公開を休止している「杉野原の御田舞」の保全・継承にも取り組んでいます。



田垣内の棚田



大野の棚田



熊瀬川の棚田



口色川の棚田



南平野の棚田



小阪の棚田

色川の棚田群（那智勝浦町色川地内）

面積：31ha

保全団体：色川棚田地域振興協議会

40年以上前から移住に力を注いできた地域で、多様な人材を受け入れ、地域が一体となって棚田の復田や維持管理を行ってきました。また、棚田地域振興法を活用して色川棚田地域振興協議会を組織し、色川地域内6ヶ所の棚田が連携・協力して棚田の保全・活用に取り組んでいます。

特に若者が活躍しており、棚田オーナー制、農業体験等の都市農村交流、WEBの活用や農泊など、様々な取組を実施しています。

なお、令和5年度には、那智勝浦町において全国棚田（千枚田）サミットの開催が決定しています。

● 第9回南紀熊野ジオパークフェスタをオンラインで開催しました

南紀熊野ジオパーク推進協議会及び環境省近畿地方環境事務所は、多くの方に南紀熊野ジオパークの魅力に触れていただくことを目的として毎年、ジオパークフェスタを開催しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにより開催された今回のフェスタでは、フォトコンテストの最優秀賞表彰式



南紀熊野ジオパークフォトコンテスト最優秀賞
「朝日を浴びて」（田上盛一さんの作品）

や観光客に南紀熊野ジオパークの魅力をより分かりやすく、楽しめるように案内するジオパークガイドの養成講座修了証交付式のほか、ジオパーク探偵団である高校生の皆さんからの海洋ごみに関する調査活動報告や那智勝浦町におけるジオパーク活動の紹介がありました。また、東^{あずま}垣^{わたる}南紀熊野ジオパークセンター長からは、南紀熊野ジオパークの地質構造の特徴を説明するとともに、大陸の形成の過程を学ぶ場所として最適な場所であることなど、南紀熊野ジオパークの魅力について講演させていただきました。

オンラインフェスタの様子は、南紀熊野ジオパークのホームページで配信していますので、是非御覧いただき、その魅力に触れていただきたいと思います。

オンラインフェスタの様子は、下記ページにおいて、令和4年3月末まで公開されていますので是非御覧ください。

南紀熊野ジオパークホームページ URL : <https://nankikumanogeo.jp/event/festa0211/>

●「南紀白浜 和みの湯 花鳥風月」が白浜町にオープンしました

県では、訪日外国人や新たな顧客層の誘客に向けた高級宿泊施設の誘致活動を展開しており、一定の要件の下で高級宿泊施設を新設した場合、その事業形態に応じて、雇用と立地それぞれの関係企業に奨励金を交付する「和歌山県宿泊施設開設促進奨励金制度」を制定しています。



太平洋の絶景を一望できます

このたび、同制度の立地協定第1号案件となる「南紀白浜 和みの湯 花鳥風月」が白浜町でオープンしました。同宿泊施設は、館内各所に和歌山県産の紀州材を使用した全24室の旅館で、あえて大浴場を設けず、好きな時間に入れるように各客室に白浜の天然温泉を24時間楽しめる半露天風呂を備えており、宿泊する客のプライベートを重視した作りとなっています。また、地元で水揚げされた海の幸や和歌山県産の食材にこだわった地産地消の料理も楽しむことができます。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本県への観光客は、以前に比べて少ない状況にありますが、昨年12月に近畿自動車道紀勢線有田IC～印南ICが4車線化され、また、南紀白浜空港に国際線チャーター便が発着できる新たな国際線専用のターミナルビルが開業予定となっており、コロナ禍が収束した際は、白浜町に多くの観光客が訪れることが期待できます。「南紀白浜 和みの湯 花鳥風月」に新たな顧客層が訪れることで、本県の観光産業が更に発展するとともに、地域の雇用拡大にもつながることを大いに期待しています。



各客室で白浜の天然温泉を楽しむことができます

県では、新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復を見据え、今後も県内各所において高級宿泊施設の誘致活動を進めてまいります。

施設名称： 南紀白浜 和みの湯 花鳥風月（和歌山県西牟婁郡白浜町 3729-32）

施設ホームページ URL：<https://shirahama-kachofugetsu.com/>

< 和歌山県宿泊施設開設促進奨励金制度について >

制度の詳細は、県サービス産業立地室（073-441-2746）までお問合せください。

なお、県サービス産業立地室ホームページにおいて、制度概要を紹介しています。

URL：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062200/servicesangyou/index.html>

●第60回和歌山県スポーツ賞の受賞者が決定しました

県では、和歌山県のスポーツ水準の向上及びスポーツの振興に貢献し、その功績が著しい個人又は団体に対して、和歌山県スポーツ賞をお贈りしています。

昨年12月、四十住さくらさんにスポーツ栄誉賞をお贈りしたところですが、このたび、スポーツ功労賞、スポーツ優秀指導者賞、スポーツ顕賞、スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の受賞者が決定しました。受賞者の皆さんのこれまでの功績に対し、深く敬意を表しますとともに、より一層の御活躍を祈念いたします。



知事から表彰状をお贈りしました

<受賞者一覧> 注：敬称略

スポーツ功労賞…本県のスポーツの振興に貢献された方 1名

上野 富治 和歌山県バレーボール協会副会長(バレーボール)

和歌山県バレーボール協会の理事長及び副会長として、本県におけるバレーボール競技の普及・発展に貢献。また、理事長就任以降、公認スポーツ指導員の養成講習会を積極的に開催するなど、指導者の育成にも尽力している。

さらに、スポーツ少年団バレーボール専門部長として長きにわたり小学生バレーボール競技の普及・発展に貢献するとともに、2013年全国スポーツ少年団交流大会や2015年紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の成功に貢献した。

現在も、関西ワールドマスターズの担当として大会開催に向けて注力している。

スポーツ優秀指導者賞…優秀なスポーツ選手の育成に尽力され、本県のスポーツの振興に貢献された方 2名

森 毅 県立和歌山高等学校(アーチェリー)

県内の高等学校を巡回指導しながら、各高等学校のコーチとして各種全国大会に帯同するなど、少年種別の競技力向上に尽力。また、スポーツ教室を開設し、本県におけるアーチェリー競技の普及・発展にも寄与した。

平成23年から、現所属の県立和歌山高等学校に赴任し、国民体育大会の少年男子における2年連続団体優勝や全国高等学校総合体育大会において個人優勝を果たす選手を育成するなど、各種全国大会で顕著な成績を収める選手を多数輩出。また、ゴールデンキッズ卒業生を中学生から指導し、当該選手が5年連続で世代別のナショナルチーム強化指定選手に選抜されるなど、優れた手腕を発揮している。

中谷 仁 智辯学園和歌山高等学校（高等学校野球）

平成24年、プロ野球選手を引退。平成29年1月、智辯学園和歌山高等学校硬式野球部の臨時コーチ、同年4月にはコーチに就任。平成30年の全国高等学校野球選手権大会終了後、同年8月24日より監督に就任する。同年10月、同校野球部は、高校野球秋季近畿地区大会で準決勝に進出。翌年の第91回選抜高等学校野球大会においてはチームをベスト8に導く。

令和3年第103回全国高等学校野球選手権大会決勝では、奈良県代表の智辯学園との兄弟校対決を制し、智辯学園和歌山高等学校を21年ぶり3回目の優勝に導いた。また、監督就任後の3年間で4名のプロ野球選手を輩出するなど、選手育成に優れた手腕を発揮している。

スポーツ顕賞…国際的なスポーツ大会に出場し、優秀な成績を挙げた個人又は団体 7名1団体

＜個人＞（水泳）南出 大伸、中村 智太郎 （体操）田中 佑典
 （フェンシング）東 莉央、東 晟良
 （陸上）生馬 知季 （レスリング）吉田 隆起
 ＜団体＞（セーリング）日吉染業ヨット部

スポーツ賞…全国的規模のスポーツ大会に出場し、特に優秀な成績を挙げた個人又は団体

＜団体＞16団体

（剣道）和歌山県チーム ※第69回全日本都道府県対抗剣道優勝大会において6年ぶり2度目の優勝
 （高等学校野球）智辯学園和歌山高等学校 ※21年ぶり3回目の夏の甲子園優勝
 （相撲）和歌山県チーム ※第32回全国都道府県中学生相撲選手権大会において和歌山県勢として初優勝
 箕島高等学校相撲部
 （バスケットボール）紀陽銀行ハートビーツ ※創部10年目で全国大会初優勝
 （カヌー）神島高等学校男子カヌー部
 （ソフトテニス）◎和歌山県少年女子チーム ◎和歌山県成年女子チーム
 ◎和歌山県成年男子チーム ★和歌山信愛高等学校ソフトテニス部
 注：◎…国民体育大会（三重とわかソフトテニス大会2021）のチーム
 ★…構成メンバーが異なるため、2大会のメンバーがそれぞれ受賞
 （卓球）日鉄物流ブレイザーズ
 （軟式野球）和歌山市立日進中学校軟式野球部
 （フェンシング）和歌山北高等学校女子フェンシング部
 和歌山東高等学校女子フェンシング部
 （ボウリング）第58回全日本ボウリング選手権大会・和歌山県チーム

<個人> 57名

(ウエイトリフティング) 辻 もも香、駒阪 勇気、立花 昂暉、森本 凌功

坂本 桃果

(カヌー) 山本 真南斗、竹中 光、濱本 子龍、栗原 萌衣、小林 実央

(剣道) 東堅 嘉怜 (自転車) 仮屋 和駿 (柔道) 石本 智也

(少林寺拳法) 長尾 涼花、高松 乃愛、大山 葵、森本 拓海

(水泳) 榎本 裕月、曾輪 貴博

(水球) 中島 アディ、中 さくら、中谷 佳奈未、清水 瑠璃

(相撲) 西出 大毅、村山 謙

(フェンシング) 山口 改、西口 泰嵩、岩本 鈴菜、山本 瑛未瑠

巾下 栞奈、福塚 世帆

(ボクシング) 西本 莉緒 (ヨット) 藤原 優咲

(ホッケー) 松葉 加菜、植田 峻平、楠木 勇哉、芝 昇征

(ライフル射撃) 土井 菜々栴

(陸上) 野村 優作、野村 蒼、上野山 真白、阪本 海月華、坂本 実南

前西 咲良、永江 翔太朗、畠久保 勇太

(レスリング) 山路 太心、山路 健心、葛城 壱星、中川 夏希、森下 大輔

松實 海斗、堀江 耐志、岡本 景虎、内田 貴斗、長澤 勇人

井筒 勇人

スポーツ奨励賞…全国的規模のスポーツ大会に出場し、優秀な成績を挙げた方

6名

(一輪車) 栗原 光陽 (パワーリフティング) 矢田 和砂

(フルコンタクト空手) 曾 和 咲良、中内 功大、岩本 佑生

(陸上) 瀧本 瑛太

●令和3年度和歌山県発明考案表彰の表彰式を開催しました

県では、優れた発明、考案によって科学技術の改善や向上に貢献した方々の功績を讃えることにより、発明考案意識の高揚を図り、県内産業の振興や県民生活の向上、本県の文化の発展に寄与することを目的として平成9年度より和歌山県発明考案表彰を行っています。

このたび、優秀な発明や創作により科学技術の向上に寄与し、県内産業の振興に貢献した10名の方に発明賞を、優れた創意工夫によって生産技術の向上

等に貢献した2名の方に創意工夫功労賞をお贈りいたしました。

受賞者の皆さんのように、試行錯誤を繰り返し、新しい価値を創造する方が今後も現れ、和歌山県の産業を担っていただけることを大いに期待いたします。

県では、県内のあらゆるところで絶えずイノベーションが起こる環境づくりに努めるとともに、技術開発や新たなビジネスへのチャレンジを全力で支援してまいります。



受賞者の皆さんと知事

<受賞者一覧> 注：敬称略
発明賞（6件10名）

氏名	勤務する会社	発明の名称・概要
しおた かおり 塩田 かおり	キクロン株式会社	【名称】ボディタオル及びボディタオルの製造方法 【概要】ナイロン生地を立体的に織る独自の製法を発明したことにより、ナイロン製ボディタオルの泡立ち性を改善
たけなか ともひこ 宮脇 慎 みやまき けん	クオリティソフト株式会社	【名称】音声伝達システム 【概要】ドローン機体への圧電スピーカー及びAIの搭載により、災害時等に利用できる実用的な多言語アナウンス機能付きドローンを開発
くぼた てつじ 久保田 哲司 やくおう よしみ 薬王 義己 みやまき ゆうこ 宮坂 雄子	サンキョー化成株式会社 宮坂木材産業株式会社	【名称】植物系樹脂ペレット及びその製造方法並びにその成形体 【概要】植物粉を練り込んだ環境調和型樹脂の独自の製法を発明したことにより、製品の安定生産を実現するとともに品質を向上
かきはた ゆきしげ 笠畑 幸荘	有限会社下津フードサービス	【名称】低蛋白パン及びその製造方法 【概要】パン原料の小麦粉を澱粉に代替し、その添加方法を工夫したことにより、腎臓病等患者向けの低蛋白かつ柔らかな食感のパンを商品化

今月の和歌山県政トピックス

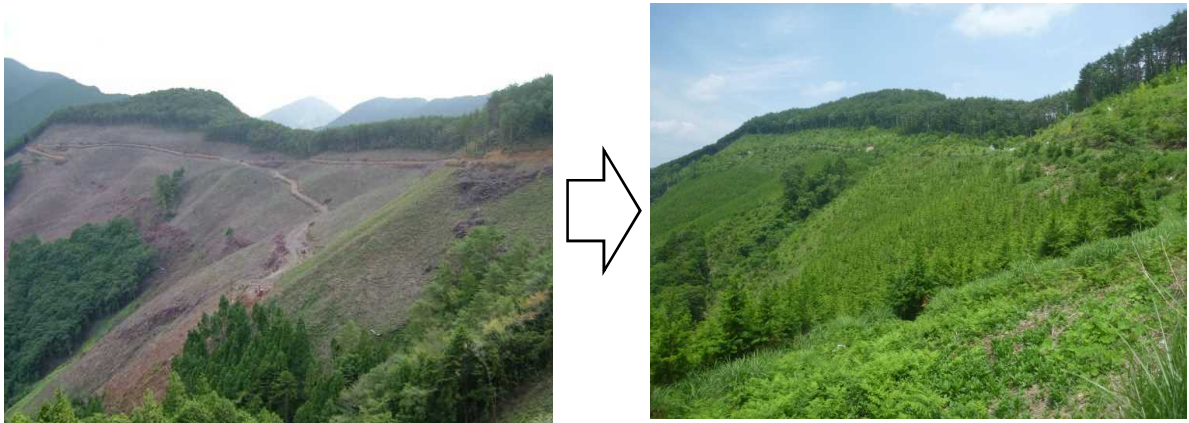
氏名	勤務する会社	発明の名称・概要
やまもと あきら 山本 章	南海合織株式会社	【名称】パイル緯編物 【概要】パイル編物製造における弾性糸の直接編込みが可能な方法を発明したことにより、製造コストの削減とともに高機能な製品の開発を実現
もりもと よしはる 森本 吉春 まさや あきひろ 榎谷 明大	4Dセンサー株式会社	【名称】計測方法、計測装置、計測プログラム及び計測プログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な記録媒体 【概要】リアルタイムかつ高精度な非接触三次元形状計測及び振動計測が可能な解析方法とその装置を開発

創意工夫功労賞（2件2名）

氏名	勤務する会社	業績の名称・概要
ありもと ようへい 有本 陽平	有本農園	【名称】業界初、ウメ「翠香」の香りを活かしたシロップの開発 【概要】特徴ある「翠香」の香りを最大限に引き出す果実の調整方法と加工方法を考案し、業界で初めて「翠香」シロップを商品化
なかきこ いずみ 中谷 泉	株式会社八旗農園	【名称】緑色保持キウイピューレの製造技術開発 【概要】キウイピューレの緑色退色の条件を明らかにし、食品添加物無添加かつ殺菌済みの緑色が鮮やかな商品を開発

●企業の森による森林保全活動箇所が100ヶ所になりました

県では、林業衰退と従事者不足により手入れが行き届かず放置された森林や手入れの進まない森林を企業や団体の力をお借りして再生する「企業の森」の取組を平成14年度から行っています。本取組は、企業や団体が森林所有者から土地を無償で借り受け、植栽、下草刈り、間伐、枝打ちなど、森林の管理・育成を行うもので、CSR（企業の社会的責任）又は社会・環境貢献活動や地域との交流活動の一環として、多くの企業・団体に参画いただいております。



「企業の森」の取組により県内にある森林が再生しています（田辺市中辺路町）

令和4年2月、新たな団体と参画に係る協定を締結したことにより、企業の森による森林保全活動の実施箇所が100ヶ所となりました。

取組開始以降、県内の計298.84haの森林において森林保全活動が行われており、現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動が困難な状況にあります。年間約2,800名（平成28年度～令和元年度平均人数）の方に活動していただいております。また、参画していただいた企業・団体の中には、森林保全活動だけでなく、カヌー体験や筏づくりなど、豊かな自然環境を活かした地域交流活動に積極的に取り組む企業・団体もあり、地元住民と一体となって行われるそれらの活動は地域の活性化にもつながっています。

県では、「企業の森」の取組に今後もより多くの企業・団体に参画いただくよう、働きかけを行い、古くから「木の国」と呼ばれてきた本県の貴重で豊かな森林を守ってまいります。

<市町村別活動箇所一覧> R4.2 現在

市 町 村	箇 所	面 積 (ha)
紀美野町	5	3.67
紀の川市	5	46.36
橋本市	2	10.74
かつらぎ町	4	3.82
高野町	3	3.70
有田川町	4	4.24
日高川町	16	24.08
田辺市	52	194.46
白浜町	1	2.59
上富田町	4	3.32
新宮市	1	0.56
那智勝浦町	1	0.39
古座川町	1	0.34
串本町	1	0.57
計	100	298.84

「企業の森」の取組に関するお問い合わせは、県森林整備課まで。

TEL:073-441-2973 FAX:073-432-5850 Email : kig-mori@pref.wakayama.lg.jp

●介護予防体操を楽しみながら行うことができる「いきいきわかやま体操アプリ」を配信しています

県では、介護予防を推進するため、平成16年度から和歌山大学や和歌山県立医科大学といった関係機関の協力を得て、本県独自の実践的な介護予防プログラムを開発し、それらの普及に取り組んでいます。このような取組の効果もあり、県内943ヶ所の通いの場において介護予防体操が行われるなど、県内各地で介護予防の取組が進んできているところです。

しかし、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、通いの場での活動が減少しており、生活不活発による健康への影響が危惧されています。こうした課題に対応するため、県では、介護予防体操を行う通いの場が休止となった場合であっても、高齢者の方に体操を継続していただけるよう、自宅等でも動画を見ながら体操することができる「いきいきわかやま体操アプリ」を配信しています。

本アプリケーションには、介護予防を目的とした運動プログラムである「わかやまシニアエクササイズ」や「いきいき百歳体操」のほか、ラジオ体操などの体操動画も掲載しています。解説動画付きとなっているため、初めての方でも安心して取り組むことができ、日々の体操を記録し、体操するごとにポイントを獲得する機能も備えているため、楽しみながら体操を継続することができます。

ダウンロード及び利用については、無料（ただし、通信料は除きます。）となっていますので、是非御利用ください。



様々な体操動画を掲載しています

「いきいきわかやま体操アプリ」のインストール方法 (iOS/Android)

App Store 又は Google Play で「いきいきわかやま体操アプリ」と検索していただくか、下記 QR コードを読み取り、インストールしてください。

また、利用方法は、下記ウェブサイトを御確認ください。

なお、当該ウェブサイトでも御利用いただけます。

「いきいきわかやま体操アプリ」ウェブサイト

URL : <https://taisou-wakayama.jp/>



<QR コードはこちら>

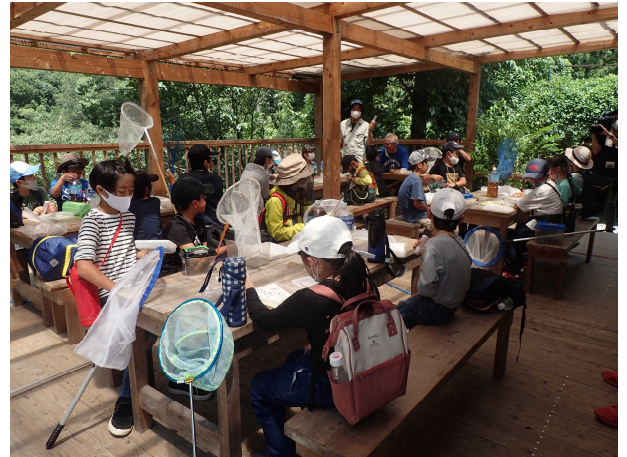
●和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウムを開催します

県では、平成28年度から多くの方に自然と人が良い関係を築くためにはどのようにすれば良いかを考える機会としていただくため、「和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウム」を開催しています。今年度は、「自然共生社会の実現に向けて」をテーマに、次世代を担う人材の育成と生物多様性のあるべき方向性について考えます。

武内和彦公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)理事長に、自然と人の関係性についてお話いただくとともに、海南市孟子不動谷における生物多様性の保全に係る取組や田辺市天神崎における自然環境保全活動について発表していただきます。

また、県では、今年度から若年層のフィールドに出ようとする意欲を喚起し、将来、生物多様性の保全を担う人材を発掘・育成することを目的として、小学生から高校生の生物に関する優れた活動成果を「わかやまネイチャー・アワード」として表彰しており、本シンポジウムにおいて表彰式と受賞者からの発表を行う予定としています。

オンラインによるライブ配信も予定していますので、是非参加又は御覧ください。



県が行っている人材育成の取組についても紹介します
(昨年開催した自然学習会「ネイチャー・キャンプ」の様子)

1. 日時及び会場等

日時：令和4年3月20日(日) 13:00~16:15

会場：アバローム紀の国 鳳凰の間(和歌山県和歌山市湊通丁北2丁目1-2)

会場定員 200名

※youtubeによるオンライン配信を併せて行います。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止、会場定員の変更又はオンライン配信のみとなる場合がありますのであらかじめ御了承ください。

2. 内容 ※講師及び発表者の敬称略

第1部 基調講演「自然共生社会の実現～次世代を担うユースへのメッセージ～」

講師：公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)理事長 武内和彦

第2部 わかやまネイチャー・アワード表彰式

(1) 賞状授与及び受賞者発表

(2) 取組紹介「生物多様性の保全を担う人材の育成」(県自然環境室)

(3) 取組紹介 ①「海南市孟子不動谷における里山保全活動と未来遺産運動」

自然回復を試みる会ビオトープ孟子 理事 有本智

②「天神崎の自然と保全～ナショナルトラスト～」

天神崎の自然を大切にする会 理事 玉井済夫

3. 申込方法

【会場(先着順)】 氏名、住所、電話番号を記載の上、FAX (073-428-0960) 又はメール (wasizen@wbs.co.jp) にてお申し込み下さい。

【オンライン配信】 事前申込不要です。 下記 URL より御視聴ください。

URL : <https://youtu.be/DCpnOUTSEhg>



<QRコードはこちら>

●コレクション展「若き日の野長瀬晩花」を開催しています

県立近代美術館では、幅広い美術の表現に接していただけるよう、コレクション展として、季節ごとに展示を替え、和歌山ゆかりの作家を中心に様々な観点から所蔵作品の紹介をしています。

今回のコレクション展では、1918(大正7)年に京都で国画創作協会を創立し、斬新な日本画を発表した野長瀬晩花の作品や資料を紹介します。

野長瀬晩花は、西牟婁郡近野村(現在の田辺市中辺路町)出身。西洋絵画の表現を取り入れた「被布着たる少女」を描き、京都の公募展で受賞する一方、既存の画壇とは距離を置きつつ、モダンで奇抜な作品を数多く発表したことから、異色の日本画家として知られました。

初公開となる「都をどり」をはじめ、「被布着たる少女」や「三味線を弾く女」など、野長瀬晩花の若き日の作品を中心に紹介しています。是非、御覧ください。



今回初公開となる「都をどり」

<開催概要>

会期 令和4年2月8日(火)～4月17日(日)

開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)

休館日 月曜日(ただし、3月21日(月)は開館し、翌22日に休館)

観覧料 一般350(270)円、大学生240(180)円

()内は20名以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上の方、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。また、3月26日は、大学生無料。4月3日は全館無料

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトを御利用ください。

和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品（プレミアム和歌山）を是非御堪能ください。また、11,000円以上の御寄附で、書籍「紀州徳川400年 南葵音楽文庫案内」も返礼品としてお選びいただけるようになりました。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 森本、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワールドマスターズゲームズ2021 関西 国民文化祭 全国障害者芸術・文化祭 全国高等学校総合文化祭 <p>各大会等の開催をすすめます。</p> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及び長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとと海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白良浜海水浴場 片男波海水浴場 <p>などの砂浜の整地をすすめます。</p> 
<p>4 がん対策の充実</p> <p>和歌山はがんで亡くられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。 若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。 	<p>11 わかやまの文化財の保護</p> <p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとと大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯浅の歴史的なまちなみの修理・修繕を支援します。 和歌山市・木ノ本八幡神社本殿の保存修理をすすめます。 
<p>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</p> <p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動で約3,900匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,600匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。 	<p>12 大切なふるさとの森を守り育てる</p> <p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。 
<p>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</p> <p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参詣道の維持管理・パトロールを行います。 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。 	<p>13 わかやまのナショナル・トラスト</p> <p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大な豪壮なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。 
<p>7 南紀熊野ジオパークの推進</p> <p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。 	<p>14 わかやまの農林水産業の振興</p> <p>和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。 農林水産業の生産性の向上をすすめます。 農林水産業の魅力を国内外へ発信します。 

※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 ※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、令和3年7月1日から県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である梅干しや梅酒のほか、柑橘や果実加工品、これからは旬のしらすなど、様々な商品を御紹介しています。

大手ショッピングモールサイトと自社のサイトで同時に販売しているなど、同一の商品について販売サイトが複数ある場合は、商品購入リンクを並列して複数掲載し、消費者の好みに合わせて購入できるようにしています。

また、旬や催事にあわせた特集や産地の魅力情報など、特集・企画ページも随時掲載しています。食の宝庫和歌山の魅力を感じていただくとともに、和歌山県の商品を購入される際は、是非御活用いただけますと幸いです。



<おいしく食べて和歌山モールはこちら>
<https://oishii-wakayama.com/>



おいしく食べて和歌山モール



イベント情報(3月下旬～4月上旬)

※掲載の情報は、令和4年2月末時点のものです。新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。
最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。

開催日・期間	行事名	場所	問い合わせ先
3月20日	聖地高野山「青空瞑想」	大伽藍 西塔	高野町観光協会 0736-56-2468
3月21日	奥之院正御影供	奥之院 燈籠堂	総本山金剛峯寺 0736-56-2011
3月27日	第18回孫市まつり	本願寺鷺森別院とその周辺	孫市の会事務局 073-460-8534
3月下旬～ 9月下旬	ホエールウォッチング	那智勝浦町 宇久井港	南紀マリンレジャー サービス 0735-54-0725
4月1日～ 3月26日	九度山・真田ミュージアム令和4年度企画展「日本刀・その魅力とところ～」	九度山・真田ミュージアム	九度山・真田ミュージアム 0736-54-2727
4月13日～ 4月15日	熊野本宮大社例大祭	13日 湯峯王子 14日～15日 熊野本宮大社及び 大斎原	熊野本宮大社 0735-42-0009

自然・風物情報(3月下旬～4月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
3月下旬	ウラシマソウ開花	印南町 切目神社	切目神社 0738-43-1181
3月下旬	ワカメ漁最盛期	和歌山市 加太漁港	加太漁業協同組合 073-459-0062
3月下旬～ 4月上旬	県内各所で桜満開	和歌山市 和歌山城（和歌山城公園） 有田川町 かなや明恵峡温泉周辺 白浜町 平草原公園 など	和歌山市和歌山城整備企画課 073-435-1044 有田川町商工観光課 0737-22-4506 いきいき紀州活力白浜推進協議会 0739-43-6588

～編集後記～

和歌山では、少し暖かい日もありますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

昨年4月に「和歌山だより」の編集長のバトンをお預かりしてから、早いものでもう1年が過ぎようとしています。編集後記を担当させていただいたこの1年は、いろいろな方からお声かけをいただき、勇気や元気をいただきました。

「お声かけ」といえば、私は、昔から街中で知らない方から「今何時ですか」「〇〇へはどういけばいいですか」と聞いていただくことが多いです。スーパーマーケットでは、車いすに乗られた方が「その棚の上にある商品をとって」とか、高齢の女性からは、「この賞味期限は何日って書いてありますか？」「これはおいしいかしら？」などとお声かけいただきます。そしてみなさん最後には、「ありがとう」とおっしゃいますが、私の方が「ありがとう」です。とても温かい気持ちにさせていただけます。

あるときこの経験を友人に話したところ、「それは、いまどきめずらしい。きっと上機嫌な顔をして歩いているのでは」と言われました。友人は続けて「だって不機嫌な人には話しかけないでしょう」と。

確かにそうかもしれません。「声かけられ体質」というものがあるとしたら、私はそれに当てはまるかもしれません。今まで自覚はありませんでしたが、そういえば、県庁内でも、来庁された方に行き先のご案内することがよくあります。お声をかけていただけることをもっと喜び、そのご縁を大切にしたいと思いました。

みなさま、和歌山につきまして、お知りになりたいことがあれば、どうぞお聞かせください。何かお役に立てることがございましたら幸いです。

春がそこまで来ていますがまだまだ寒い日もあります。

くれぐれもお身体、ご自愛ください。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますのでぜひ御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年(令和4年)3月 NO.167

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026